

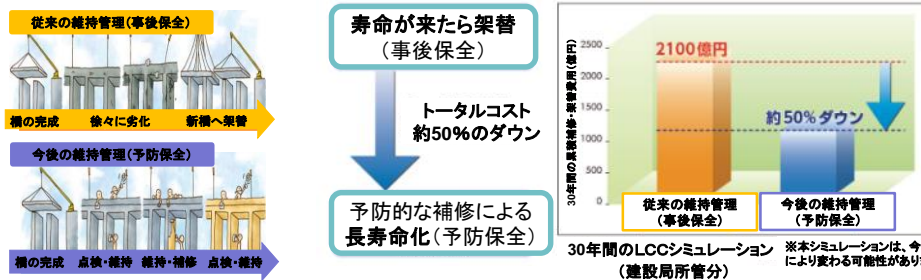
公共施設の安全確保・機能維持を図るため、長寿命化を基本とする計画的な維持管理を推進するとともに、市民の安全・安心の確保のため緊急的に必要な修繕等を実施

■ インフラ施設・市設建築物の維持管理

(1, 026億2, 000万円)

➢ インフラ施設(道路、岸壁等)の維持管理

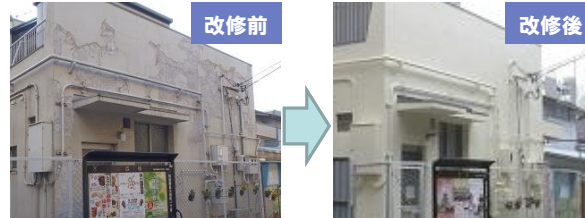
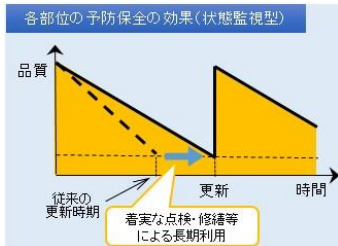
(240億7, 800万円) ※旧真田山陸軍墓地の改修【後掲】を含む



長寿命化による維持管理費の縮減・平準化例(橋梁)

➢ 市設建築物(一般施設、学校施設、市営住宅)の維持管理(785億4, 200万円)

※ 2018(平成30)年度2月補正予算の繰越分(142億1, 800万円)を含む



市設建築物の長寿命化事例(外壁改修)



劣化が進行している係留施設(岸壁、物揚場)等の補修

市民利用施設等の緊急的な安全対策



台風21号等により被災した樹木の復旧



老朽化した設備の改修



台風21号等により被災した市営住宅の屋上防水材等の復旧

市民利用施設等の緊急的な安全対策

自然災害に備え、安全対策として、損傷や老朽化が見受けられる樹木・園路・照明灯を更新



■ 旧真田山陸軍墓地の改修

（2,000万円）

- 樹木の更新（枯れの生じている樹木の更新）
- 園路の改修（老朽化や倒木等により傷んだ園路の改修）
- 照明灯の更新（損傷の見受けられる照明灯の更新）



旧真田山陸軍墓地

旧真田山陸軍墓地の概要

- 天王寺区にある日本で最初に設置された軍用墓地
5,000超の墓石、8,000超の方が眠る納骨堂がある全国でも最大規模のもの
- 戦後の国の通知により、国と国有財産無償貸付契約を締結し、大阪市が維持管理

	大阪市	国
基本的な役割分担 についての考え方	国有財産無償貸付契約上の借主（管理者）として、日常的な維持管理を行う	国有財産無償貸付契約上の貸主（財産所有者）として、対策を検討
2018（平成30） 年度実施	台風による墓地内倒木等の伐採・ 撤去・搬出等	納骨堂の耐震状況等の調査
2019（平成31） 年度予定	樹木の更新、園路の改修、 照明灯の更新	納骨堂の耐震状況等調査結果を踏まえ 対応を検討

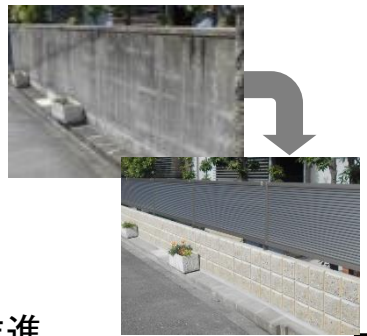


台風21号直後の状況
（倒木等の撤去・
搬出は実施済み）

防災体制の更なる充実・震災対策の推進

近年の大型台風や大阪北部地震等の大規模地震などを教訓として、
災害から住民の生命・財産を守るための対策を推進

- 新** ■ 水害ハザードマップを活用した防災知識の周知・啓発事業 (1億 400万円)
 - 既存の水害ハザードマップを視覚的に分かりやすい内容となるよう更新し、全戸配布
- 拡** ■ 市民への災害時情報伝達手段の強化 (7億9,000万円)
 - 同報系防災行政無線デジタル化により音達改善を図るとともに、LINE、防災アプリ、緊急速報メール等へ緊急情報を4カ国語(日本語・英語・中国語・韓国語)で一斉配信
 - 区役所が保有する車両に高出力放送設備を搭載し、緊急事態の発生時に区内を巡回し避難を呼びかけ
- 新** ■ 災害時避難所となる学校体育館への空調機設置事業 (1,800万円)
 - 災害弱者(高齢者等)のセーフティネットとして避難所となる中学校体育館(各区1校)に空調機を設置
 - ・2019(平成31)年度は実施設計を行い、2020年度に工事開始・完了予定
- 民間ブロック塀等撤去促進事業 (1億1,300万円)
 - 民間ブロック塀等の撤去費用及び軽量フェンス等の新設費用に対する補助を実施
- 市有ブロック塀等の安全対策 (30億3,800万円)
 - ※ 2018(平成30)年度2月補正予算の繰越分(12億2,300万円)を含む
 - 市設建築物の敷地・公園・未利用地等に設置されているブロック塀等の安全対策を推進



ブロック塀の安全対策事例 **50**